

第三セクターの経営情報について

平成28年8月18日

産業経済局商業・サービス産業政策課

報告対象団体		北九州まちづくり応援団株式会社	
会社概要	会社の事業内容	1. 指定管理事業 2. 共通駐車券事業、賑わいイベント事務局業務 3. 北九州市からの受託業務 4. その他自主事業	
	資本金額	32,000	千円
	本市の出資額	1,000	千円
	本市の出資割合	3.125	%
	従業員数	31	人
営業報告の要点		<p>小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わい創出のための活動を行った。</p> 1. 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」及び「水環境館」の指定管理者として、施設の管理・運営を行った。小倉城の入場者が大幅に伸長し対前々年比127%の年間15万3千人超の方が来場したため、入場料収入ならびに売店売上も予算を大きく上回り最終損益の改善につながった。 2. 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局業務 予定通り実施した。 3. 北九州市からの受託業務 体制見直しや経費削減等により、黒字を確保した。 4. その他自主事業 小倉地区における「サンリオ小倉ビル」では、入居テナントへの来店者数が順調に推移した。また、黒崎地区における「ニューながしまフード」は、平成27年5月末をもって閉店した。	
収支状況の要点	当期純利益	5,479	千円
	前年度との比較	・売上高 287,257千円（前年度比 4,532千円の減） ・経常利益 2,379千円（前年度比14,117千円の増） （前年度経常利益 ▲11,738千円） ・当期純利益 5,479千円（前年度比17,217千円の増） （前年度純利益 ▲11,738千円）	
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	・前期末（平成27年3月31日）の繰越利益剰余金 ▲5,349千円	
利益処分	当期末処理利益（損失）	130	千円
株主総会 （平成28年6月27日開催）	監査報告	監査役1名が監査した結果、適法かつ正確であった。	
	議案	決議事項 第1号議案 第11期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）事業報告及び決算（案）の件 第2号議案 取締役及び監査役選任の件 報告事項 1 第12期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業計画の件 議案は異議なく承認可決。	

（平成28年3月31日現在）

北九州まちづくり応援団株式会社
平成27年度経営状況報告

平成28年8月18日

産業経済局

1号議案

平成27年度事業報告書

〔 自：平成27年4月1日
至：平成28年3月31日 〕

活動の概要および成果

当社は、北九州市の小倉地区並びに黒崎地区中心市街地の賑わい創出の為の活動を行なってまいりました。

当年度は、「北九州市中心市街地活性化基本計画」（小倉地区・黒崎地区）の終了に伴い行政の関連予算が大幅削減されたこと、並びに前年度の大幅な欠損計上を補填すべく不採算部門の廃止を含め事業の見直しを行い、以下の事業に取り組んでまいりました。

① 指定管理事業、② 共通駐車券事業、③ 賑わいイベント事務局事業、④ 北九州市からの受託事業、⑤ 「サンリオ小倉ビル」管理事業、⑥ ニューながしまフード事業

北九州市からの「指定管理事業」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、小倉城の入場者が大幅に伸長し対前々年比127%の年間15万3千人超の方に来場いただきました。これにより、入場料収入ならびに売店売上も予算を大きく上回り、最終損益の改善につながりました。

なお、来場者の属性面では国内・海外いずれのお客様も同じように増加しており、属性面の大きな変化はありませんでした。

「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」については、おおむね予定通りの活動が出来て、小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与できたものと思います。

「北九州市からの受託事業」（小倉地区・黒崎地区）については、基本計画が終了し、昨年度に引き続き当年度も北九州市からの受託金が大幅に削減されたため、人員の削減や経費の圧縮に努めた結果、黒字を確保することができました。

「サンリオ小倉ビル管理事業」については、1Fテナントの「カルディー」は引き続き来店者が順調に推移していることから安定的な賃料を得ることが出来ています。2Fのテナント「ママトモ」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設「ママトモ」の認知PR活動を行ってきた結果、徐々に有料託児人数が増加してきています。また3Fの多目的スペースでの子育て支援講座などの開催も引き続き推進し、講座期間中の「ママトモ」への有料託児人数の増加に寄与いたしました。

なお本ビルを賃借するに当たり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金1600万円と銀行からの借入金により調達しておりますが、銀行借入金については、予定通り

返済を進めており、当期末の借入金残高は 714 万円となっております。(返済完了は平成 34 年 9 月末予定)

「ニューながしまフード事業」については、来店者の減少に歯止めが掛からない厳しい事業環境が続く中、これ以上の事業継続は困難と判断し、平成 27 年 5 月末をもって閉店いたしました。

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、2 億 8726 万円 (対前年 98.4%) と前年より若干の減少とはなりましたが、売上原価 (対前年 84.5%) ならびに販売費・一般管理費 (対前年 95.9%) の改善効果により、税引き前当期純利益は期初目標を大きく上回る 548 万円となり、前年の▲1,174 万円から大きく改善いたしました。

貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

平成28年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 58,810,926】	【流 動 負 債】	【 29,028,669】
現 金	1,841,839	未 払 費 用	20,677,458
預 金	45,000,235	未 払 法 人 税 等	428,700
商 品	3,067,399	預 り 金	2,121,471
貯 蔵 品	1,491,325	仮 受 金	19,640
未 収 入 金	7,410,128	未 払 消 費 税	2,781,400
【固 定 資 産】	【 9,483,253】	預 り 敷 金	3,000,000
(有 形 固 定 資 産)	(6,413,253)	【固 定 負 債】	【 7,136,000】
建 物	4,012,301	長 期 借 入 金	7,136,000
建 物 附 属 設 備	2,400,952	負 債 合 計	36,164,669
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(3,070,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000		
出 資 金	10,000	純 資 産 の 部	
敷 金	3,000,000	【株 主 資 本】	【 32,129,510】
		資 本 金	32,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(129,510)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	129,510
		繰 越 利 益 剰 余 金	129,510
		純 資 産 合 計	32,129,510
資 産 合 計	68,294,179	負 債 ・ 純 資 産 合 計	68,294,179

損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

単位：円

科 目	金	額
【売 上 高】		
事 業 収 入 金	73,083,866	
店 売 上	6,213,866	
小倉城関連売上	207,958,792	287,256,524
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	5,372,412	
小倉城関連売上原価	12,748,324	
仕 入 高	45,754,784	
* * 合 計 * *	63,875,520	
期 末 棚 卸 高	△3,067,399	60,808,121
売上総利益金額		226,448,403
【販売費及び一般管理費】		224,127,949
営業利益金額		2,320,454
【営業外収益】		
受 取 利 息	8,703	
雑 収 入	926,185	934,888
【営業外費用】		
支 払 利 息 割 引 料	96,317	
雑 損 失	780,410	876,727
経常利益金額		2,378,615
【特 別 利 益】		
債 務 免 除 益		3,100,000
税引前当期純利益金額		5,478,615
当期純利益金額		5,478,615

販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	10,590,927
退 職 金	667,917
法 定 福 利 費	695,581
福 利 厚 生 費	301,626
旅 費 交 通 費	29,887
通 信 費	441,694
交 際 費	12,778
減 価 償 却 費	692,588
賃 借 料	746,479
保 險 料	34,378
修 繕 費	220,000
水 道 光 熱 費	1,397,565
消 耗 品 費	213,280
租 税 公 課	297,545
運 賃	33,100
事 務 用 品 費	38,476
支 払 手 数 料	187,330
諸 会 費	386,880
清 掃 費	517,533
警 備 業 務 費	145,200
販 売 促 進 費	105,845
地 代 家 賃	5,555,336
事 業 運 営 費	10,330,162
協 賛 金	50,000
雑 費	1,152,894
小倉城関連諸経費	189,282,948
合 計	224,127,949

小倉城関連諸経費の内訳

小倉城・北九州まちづくり応援団(株)

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	55,289,461
賞 与	7,841,000
雑 給	9,880,066
法 定 福 利 費	11,015,928
福 利 厚 生 費	5,480,789
委 託 費	84,259
旅 費 交 通 費	972,745
通 信 費	1,076,100
交 際 費	248,409
賃 借 料	695,237
保 険 料	1,337,370
修 繕 費	1,214,900
水 道 光 熱 費	12,165,798
運 賃	2,800
消 耗 品 費	1,749,648
租 税 公 課	35,021
車 両 費	56,502
事 務 用 品 費	439,950
広 告 宣 伝 費	3,597,719
印 刷 物 等 作 成 費	2,562,970
支 払 手 数 料	707,234
諸 会 費	102,095
新 聞 図 書 費	76,440
呈 茶 関 連 費 用	5,220,278
文 化 関 連 費 用	38,611,907
維 持 清 掃 費	19,509,711
警 備 業 務 費	1,271,228
保 守 点 検 費	3,796,400
協 賛 金	2,770,000
会 費	48,693
雑 費	1,422,290
合 計	189,282,948

株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	<u>32,000,000</u>
-----	--------------	-------------------

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金	当期首残高	45,349,105
---------	-------	------------

当期変動額	当期純利益	<u>5,478,615</u>
-------	-------	------------------

当期末残高	<u>129,510</u>
-------	----------------

株主資本合計

当期首残高	26,650,895
-------	------------

当期変動額	<u>5,478,615</u>
-------	------------------

当期末残高	<u>32,129,510</u>
-------	-------------------

個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）は定額法）を採用しています。

(2) 無形固定資産 定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 2,680,507円

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たりの純資産額 23,031.81円

一株当たりの当期純利益又は当期純損失 4192.99円

監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役社長 原田 康 様

第11期事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日迄）の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。
その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

平成28年6月 / 日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役

前川 義広

2号議案

(1) 取締役および監査役選任について

氏名	生年月日		備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田康		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
中村涉		取締役	北九州商工会議所 参事
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問
田島裕美		取締役	北九州市 小倉北区長
※ 重永佳嗣		取締役	北九州まちはぐり協団(株) 管理部長
前川義広		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長

※は新任

岡田取締役は退任。

・取締役の任期期間

至 第11回定時株主総会終結時 (平成28年6月27日)

至 第13回定時株主総会終結時 (平成30年6月末予定)

・監査役の任期

至 第11回定時株主総会終結時 (平成28年6月27日)

至 第15回定時株主総会終結時 (平成32年6月末予定)

【報告事項】

第 12 期平成 28 年度事業計画書

〔 自：平成 28 年 4 月 1 日
至：平成 29 年 3 月 31 日 〕

活動計画の概要

当年度は、前年度に実施した組織・事業の見直しに従って、採算事業である「指定管理事業」に予算・人員を集中的に配して利益の極大化に取り組んでまいります。

当年度に取り組む事業は、

①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④「サンリオ小倉ビル」管理事業、の 4 つに絞り、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与していきたいと考えております。

「指定管理者事業」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、昨年の好調な入場者増の流れを維持すべく、城内・城外での集客イベントを実施してまいります。また、小倉城庭園につきましても、小倉城との連動イベントを実施し、入園者増ならびに小倉城庭園の認知向上を図ってまいります。

「共通駐車券事業」については、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業 PR ツールについての研究を行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定しております。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、各テナントの営業活動に引き続き側面支援を行い、安定的な賃料確保に努めてまいります。また 3 F の多目的スペースについても、賃料の改訂などにより利用率向上を図ってまいります。

結果として、第 12 期の売上高は 2 億 6,380 万円を見込んでおり、経常利益については、小倉城関連イベントの費用を引き続き増額計上したことにより計 334 万円を計画しております。

(参考資料)

会社の概要

平成28年3月31日現在

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

(2) 事業所

本社

・北九州市小倉北区魚町2丁目2番11号

黒崎支店

・北九州市八幡西区黒崎2丁目8-7 長島ビル 2階

注) 黒崎支店については、平成28年3月31日をもって支店を閉鎖

指定管理部門(小倉城・小倉城庭園・水環境館)

・北九州市小倉北区城内2番1号(小倉城) 他

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

(4) 株主の状況

(1株=5万円)

株 主 名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
株式会社アパマンショップホールディングス	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

(参考資料)

(5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田康		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
中村涉		取締役	北九州商工会議所 参事
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 理事長
田島裕美		取締役	北九州市 小倉北区長
岡田孝徳		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
前川義広		監査役	西鉄バス北九州(株) 取締役社長